

# 『第190回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2022年 10～12月期の実績 2023年 1～3月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	109社
(業種別内訳)	製造業 31社	卸売業 8社	
	小売業 26社	サービス業 11社	
	建設業 21社	不動産業 12社	
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 業務部 地域貢献課		

## ☆ 目次 ☆

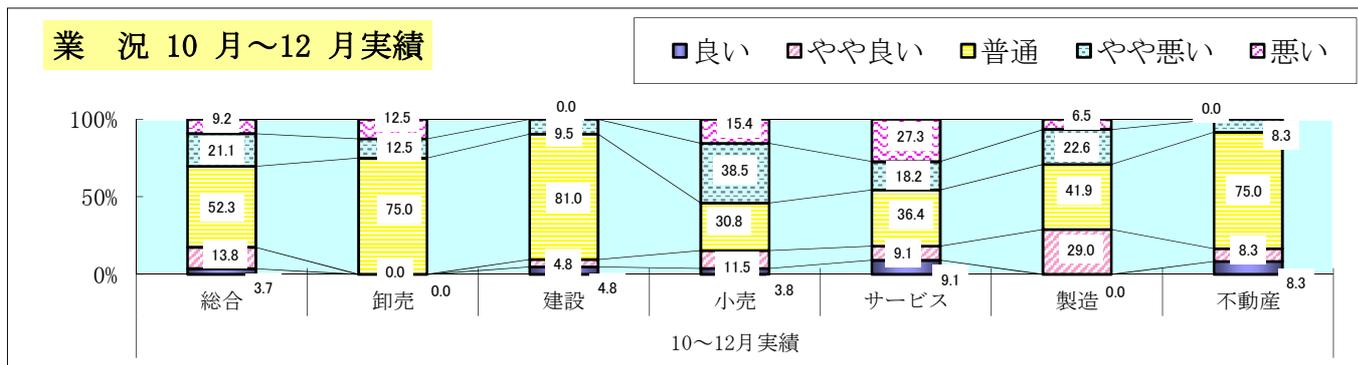
1	概況	P. 1
2(1)	前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2)	前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3)	前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4)	前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5)	前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6)	前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7)	前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1)	前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2)	前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3)	前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1)	前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2)	前期に比べた人手の動き	P. 13
5	前期に比べた借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1)	前期に比べた設備投資の動き	P. 15
6(2)	前期に比べた設備投資の実施と予定状況	P. 16
	経営上の問題点	P. 17
	当面の重点経営施策	P. 18
	特別調査 … 「2023年（令和5年）の経営見通し」	P. 19～P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



# 1. 概 況

概 況	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績						-23.8	
10～12月予想						-31.3	
前年同期実績						-29.4	
10～12月実績							
総合	3.7	13.8	52.3	21.1	9.2	-12.8	-28.4
卸売	0.0	0.0	75.0	12.5	12.5	-25.0	-37.5
建設	4.8	4.8	81.0	9.5	0.0	0.1	-9.5
小売	3.8	11.5	30.8	38.5	15.4	-38.6	-27.0
サービス	9.1	9.1	36.4	18.2	27.3	-27.3	-36.4
製造	0.0	29.0	41.9	22.6	6.5	-0.1	-41.9
不動産	8.3	8.3	75.0	8.3	0.0	8.3	-16.7



## ○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’22年10～12月期の業況判断D. I. は△12.8で、’22年7～9月期（前期D. I. △23.8）と比べ11.0ポイント良化、前年同期比でも16.6ポイント良化しました。  
また、次期予想D. I. については△28.4と今期より15.6ポイント悪化の予想となりました。

## ○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況]（信金中央金庫 地域・中小企業研究所調べ）

’22年10～12月期（今期）の業況判断D. I. は△10.8、前期比7.0ポイント改善し、コロナ前の水準近くまで回復した。

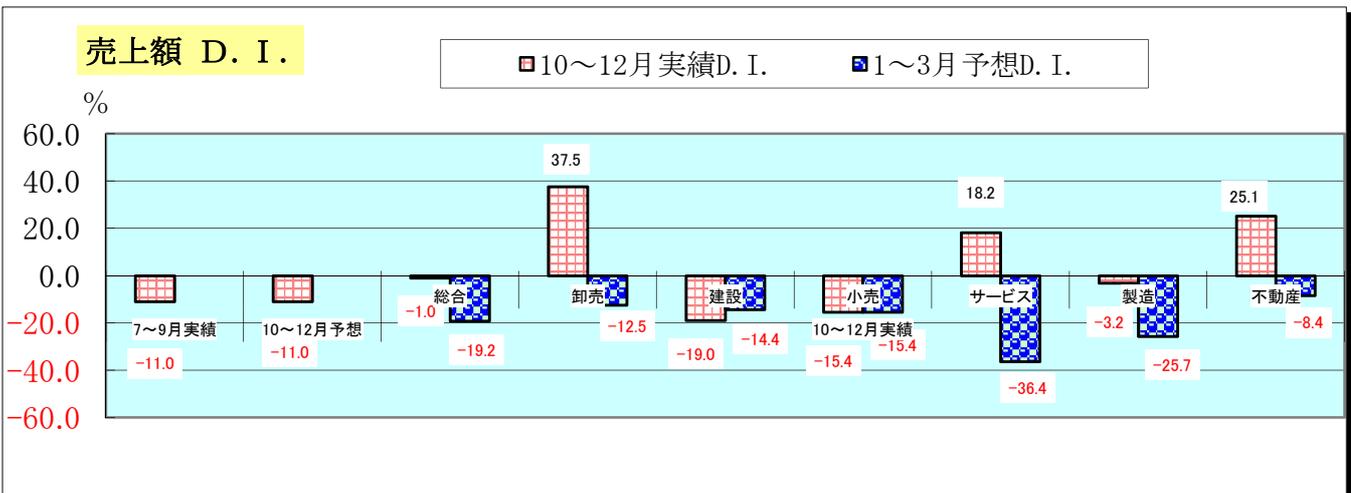
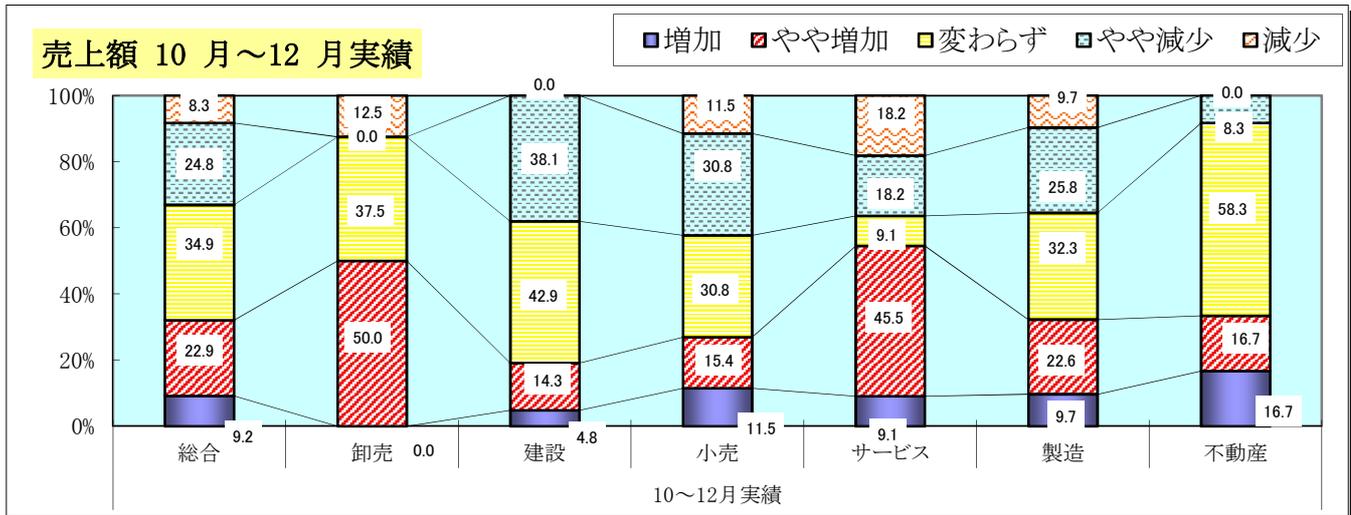
収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス6.4と前期比5.7ポイント改善、同収益判断D. I. は△11.0と同1.7ポイント改善した。販売価格判断D. I. はプラス29.8と前期比5.5ポイント上昇した。人手過不足判断D. I. は△24.9と人手不足感が一段と強まった。設備投資実施企業割合は20.8%と前期比0.1ポイント小幅上昇にとどまった。業種別の業況判断D. I. は全6業種で、地域別でも全11地域で、それぞれ改善した。

’23年1～3月期（来期）の予想業況判断D. I. は△17.3、今期実績比6.5ポイントの低下を見込んでいる。業種別には全6業種で、また、地域別にも全11地域で、それぞれ低下見通しにある。

## 2. 前期に比べた動き

### (1) 売上額の動き

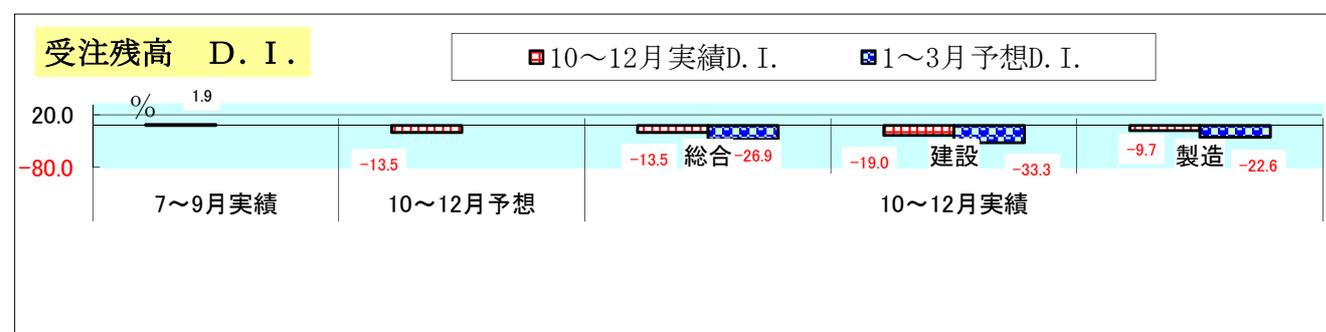
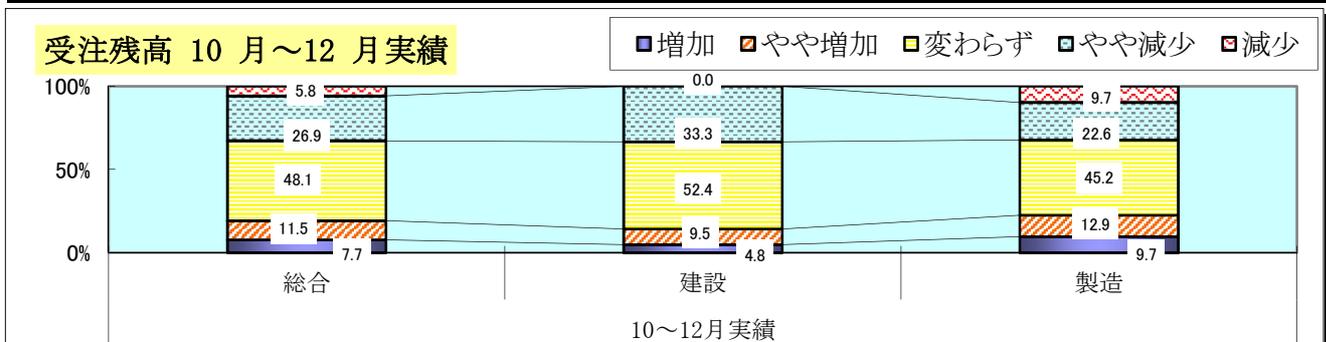
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-11.0	
10~12月予想							-11.0	
10~12月実績	総合	9.2	22.9	34.9	24.8	8.3	-1.0	-19.2
	卸売	0.0	50.0	37.5	0.0	12.5	37.5	-12.5
	建設	4.8	14.3	42.9	38.1	0.0	-19.0	-14.4
	小売	11.5	15.4	30.8	30.8	11.5	-15.4	-15.4
	サービス	9.1	45.5	9.1	18.2	18.2	18.2	-36.4
	製造	9.7	22.6	32.3	25.8	9.7	-3.2	-25.7
	不動産	16.7	16.7	58.3	8.3	0.0	25.1	-8.4



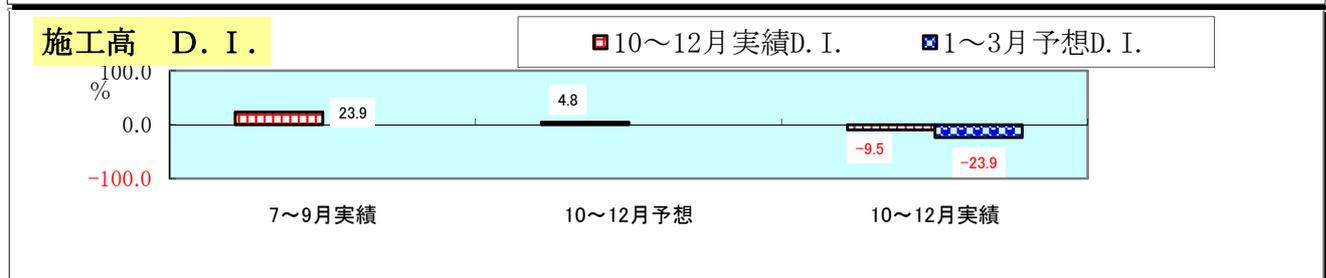
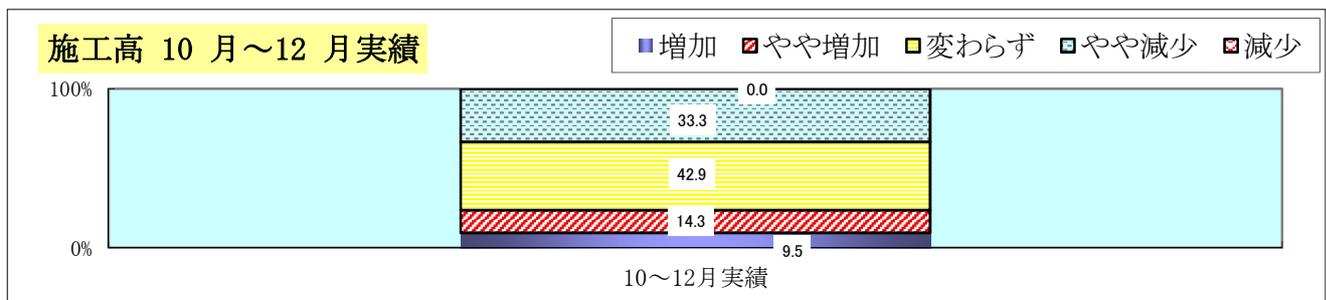
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」とした企業は全体の32.1%、「やや減少」「減少」とした企業は33.1%を示し、今期D. I. は△1.0となりました。
- 今期の売上額判断D. I. △1.0は、前期実績D. I. △11.0から10.0ポイント増加、前期調査における今期の予想D. I. △11.0からも10.0ポイントの増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業で37.5、不動産業で25.1、サービス業で18.2の売上額増加を示し、一方、建設業で△19.0、小売業で△15.4、製造業で△3.2の減少を示しました。
- 1~3月予想D. I. は△19.2で、10~12月実績より18.2ポイント減少の予想となりました。

## (2) 受注残高・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							1.9	
10～12月予想							-13.5	
10～12月実績	総合	7.7	11.5	48.1	26.9	5.8	-13.5	-26.9
	建設	4.8	9.5	52.4	33.3	0.0	-19.0	-33.3
	製造	9.7	12.9	45.2	22.6	9.7	-9.7	-22.6



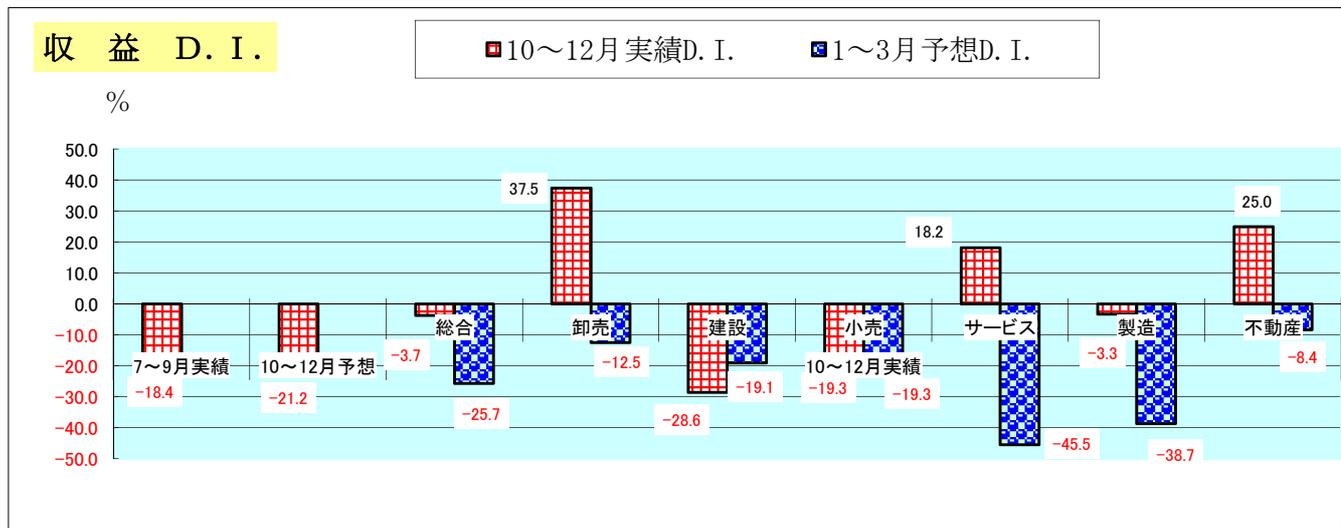
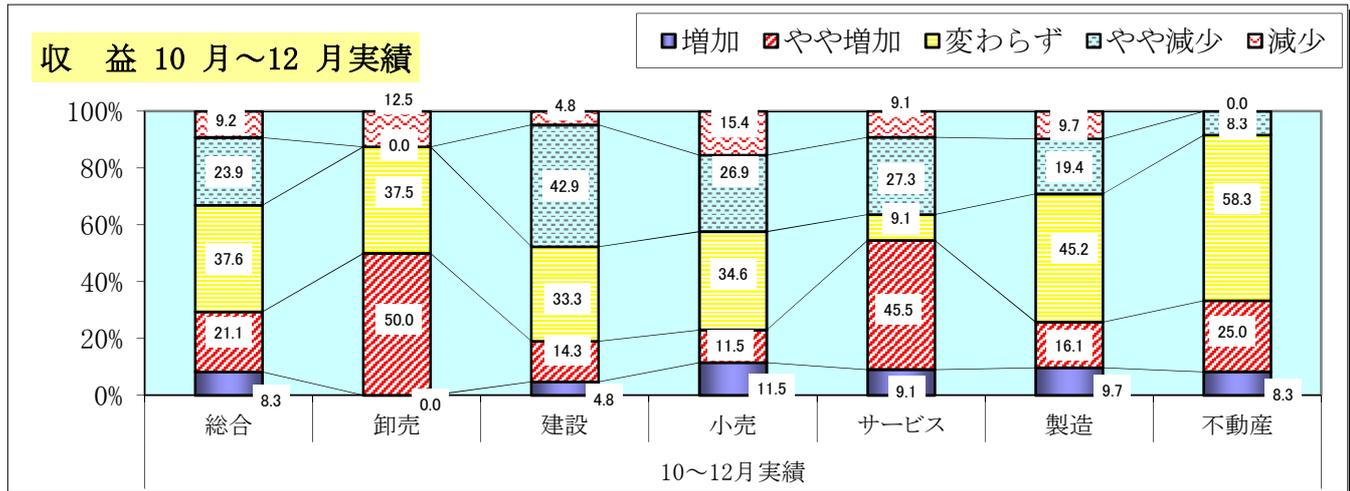
施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							23.9	
10～12月予想							4.8	
10～12月実績		9.5	14.3	42.9	33.3	0.0	-9.5	-23.9



- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は△13.5で、前期実績のD. I. 1.9に対し15.4ポイント減少しました。前期調査における今期予想D. I. △13.5に対しては同数で予想通りとなりました。また、受注残高1～3月予想D. I. は△26.9で、10～12月実績対比13.4ポイント減少予想となりました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は△9.5となり、前期実績D. I. 23.9に対し33.4ポイント減少し、前期調査における今期予想D. I. 4.8に対しても14.3ポイント減少しました。また、施工高1～3月予想D. I. は△23.9で、10～12月実績対比14.4ポイント減少の予想となりました。

### (3) 収益の動き

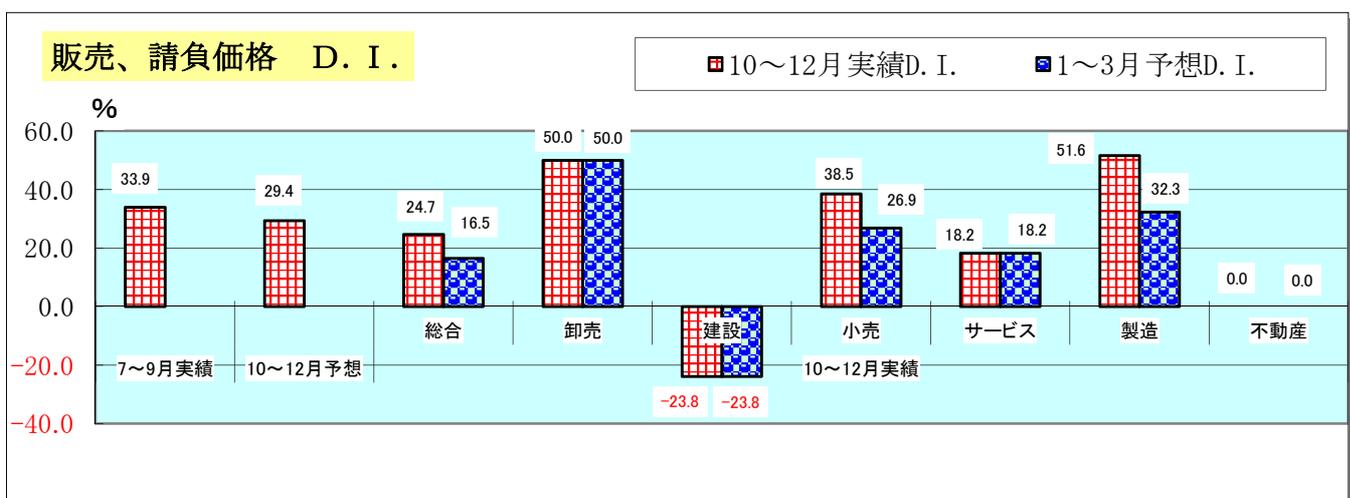
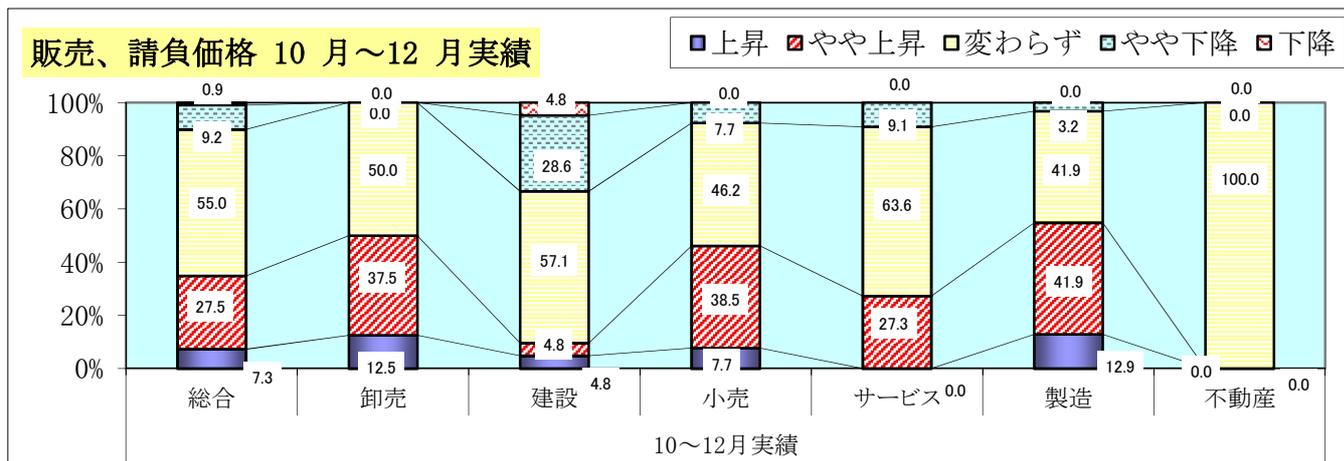
収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-18.4	
10~12月予想							-21.2	
10~12月実績	総合	8.3	21.1	37.6	23.9	9.2	-3.7	-25.7
	卸売	0.0	50.0	37.5	0.0	12.5	37.5	-12.5
	建設	4.8	14.3	33.3	42.9	4.8	-28.6	-19.1
	小売	11.5	11.5	34.6	26.9	15.4	-19.3	-19.3
	サービス	9.1	45.5	9.1	27.3	9.1	18.2	-45.5
	製造	9.7	16.1	45.2	19.4	9.7	-3.3	-38.7
	不動産	8.3	25.0	58.3	8.3	0.0	25.0	-8.4



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」とした企業29.4%、「やや減少」「減少」とした企業は33.1%で、今期D. I. は $\Delta 3.7$ となりました。
- 今期の収益実績D. I.  $\Delta 3.7$ は、前期実績D. I.  $\Delta 18.4$ から14.7ポイント増加し、前期調査における今期予想D. I.  $\Delta 21.2$ に対しても17.5ポイント増加しました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業で37.5、不動産業で25.0、サービス業で18.2の収益増加を示しました。一方、建設業で $\Delta 28.6$ 、小売業で $\Delta 19.3$ 、製造業で $\Delta 3.3$ と減少を示しました。
- 1~3月予想D. I. は $\Delta 25.7$ で、10~12月実績より22.0ポイント減少の予想となりました。

#### (4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

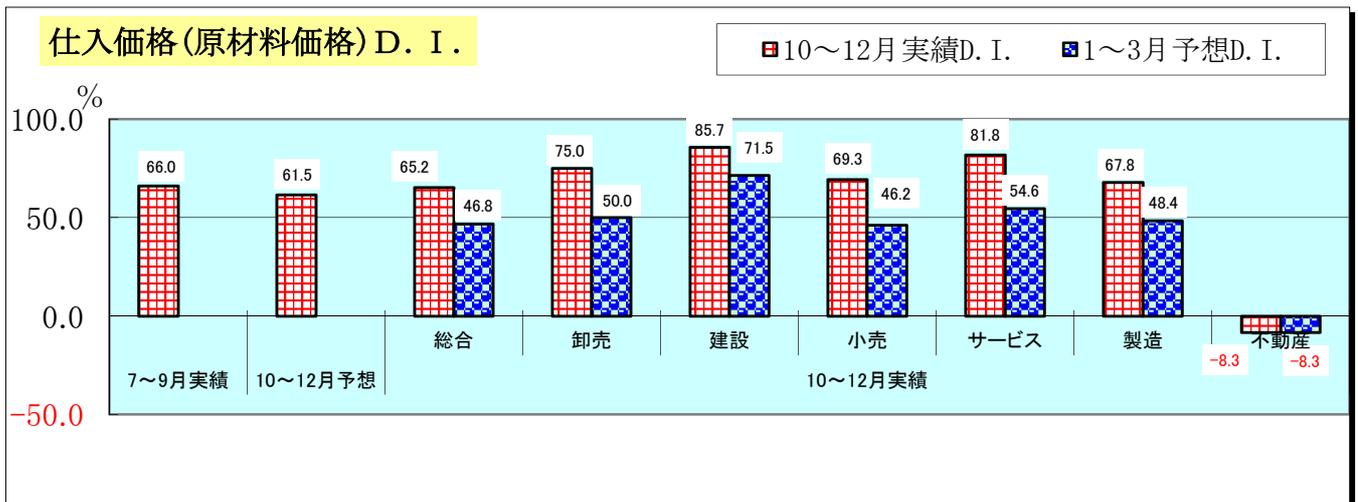
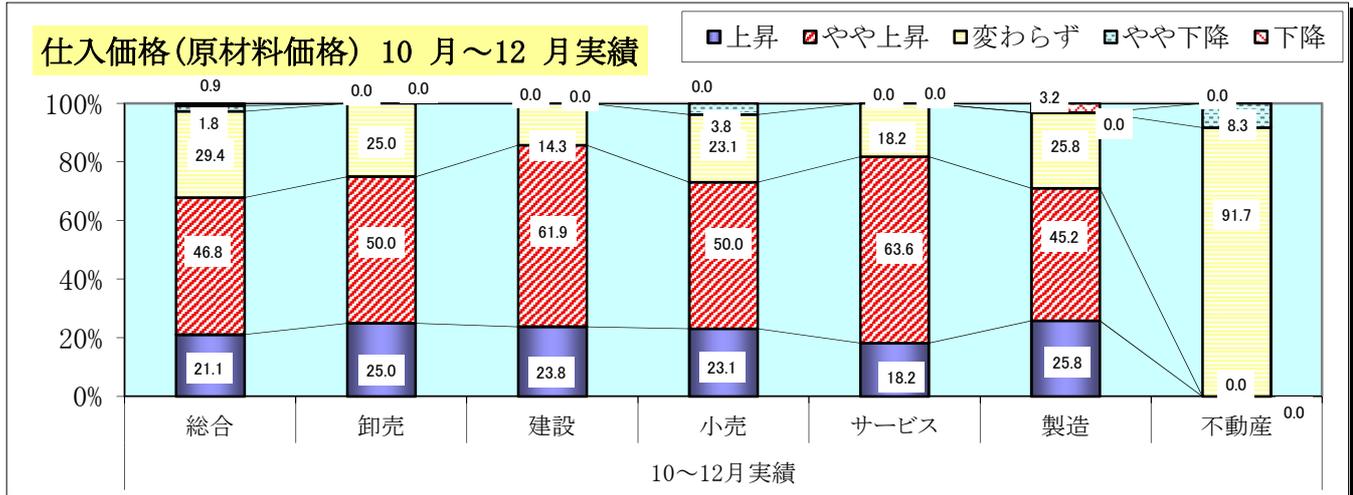
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							33.9	
10～12月予想							29.4	
10～12月実績	総合	7.3	27.5	55.0	9.2	0.9	24.7	16.5
	卸売	12.5	37.5	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	建設	4.8	4.8	57.1	28.6	4.8	-23.8	-23.8
	小売	7.7	38.5	46.2	7.7	0.0	38.5	26.9
	サービス	0.0	27.3	63.6	9.1	0.0	18.2	18.2
	製造	12.9	41.9	41.9	3.2	0.0	51.6	32.3
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は34.8%、「やや下降」「下降」とした企業は10.1%で、今期D. I. は24.7となりました。
- 今期の販売価格実績D. I. 24.7は、前期実績D. I. 33.9から9.2ポイント下降し、前期調査における今期予想D. I. 29.4からも4.7ポイント下降しました。
- 業種別の今期D. I. は、製造業で51.6、卸売業で50.0、小売業で38.5、サービス業で18.2と上昇を示し、建設業では△23.8と下降となった。不動産業のD. I. は0.0で均衡を示しました。
- 1～3月予想D. I. は16.5で、10～12月実績より8.2ポイント上昇幅圧縮予想となりました。

### (5) 仕入価格（原材料価格）の動き

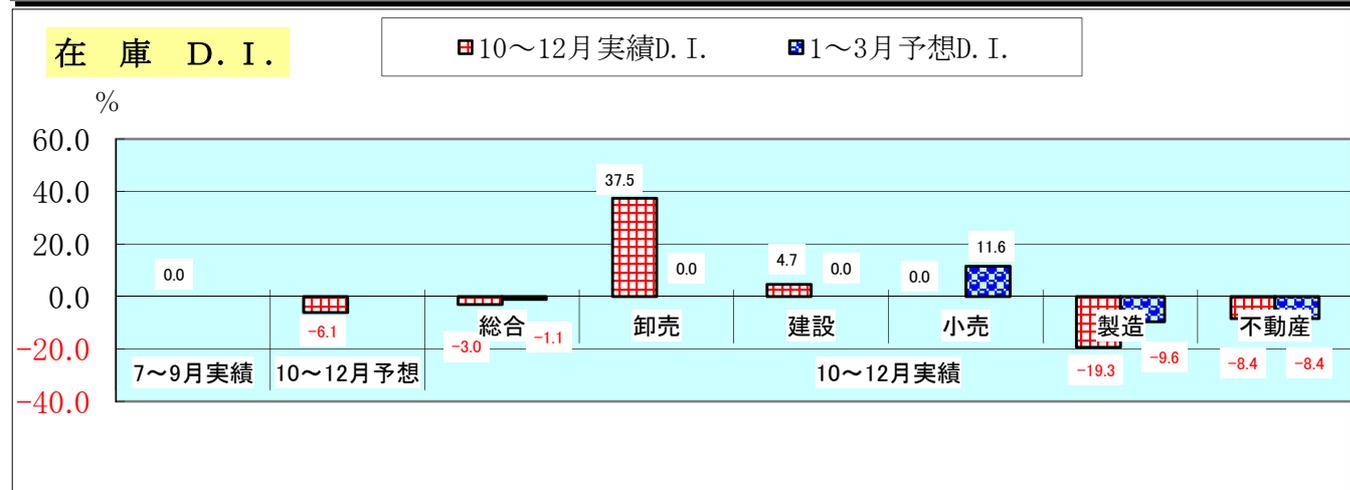
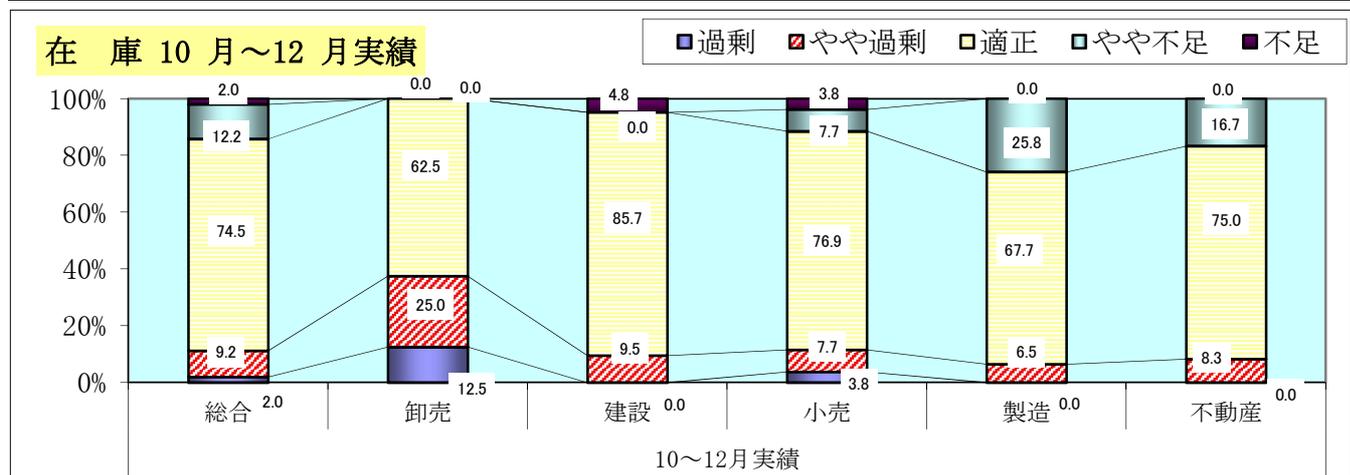
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							66.0	
10～12月予想							61.5	
10～12月実績	総合	21.1	46.8	29.4	1.8	0.9	65.2	46.8
	卸売	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	50.0
	建設	23.8	61.9	14.3	0.0	0.0	85.7	71.5
	小売	23.1	50.0	23.1	3.8	0.0	69.3	46.2
	サービス	18.2	63.6	18.2	0.0	0.0	81.8	54.6
	製造	25.8	45.2	25.8	0.0	3.2	67.8	48.4
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	-8.3



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は67.9%、「やや下降」「下降」とした企業は2.7%で、今期D. I. は65.2となりました。
- 今期の仕入価格実績D. I. 65.2は、前期実績D. I. 66.0から0.8ポイント下降し、前期調査における今期予想D. I. 61.5からは3.7ポイントの上昇となりました。
- 業種別の今期D. I. は、不動産業が△8.3と下降を示しましたが、他業種は、全て上昇となりました。殊に、建設業で85.7、サービス業で81.8、卸売業で75.0と大きな上昇を示しました。
- 1～3月予想D. I. は46.8で、10～12月実績より18.4ポイントの上昇幅圧縮予想となりました。

## (6) 在庫の動き

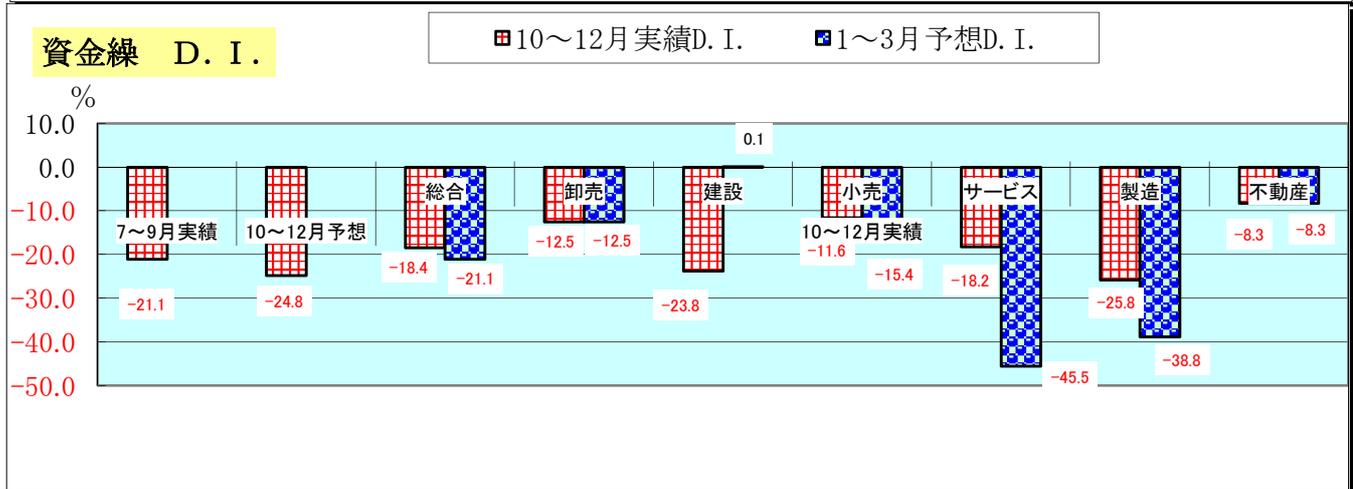
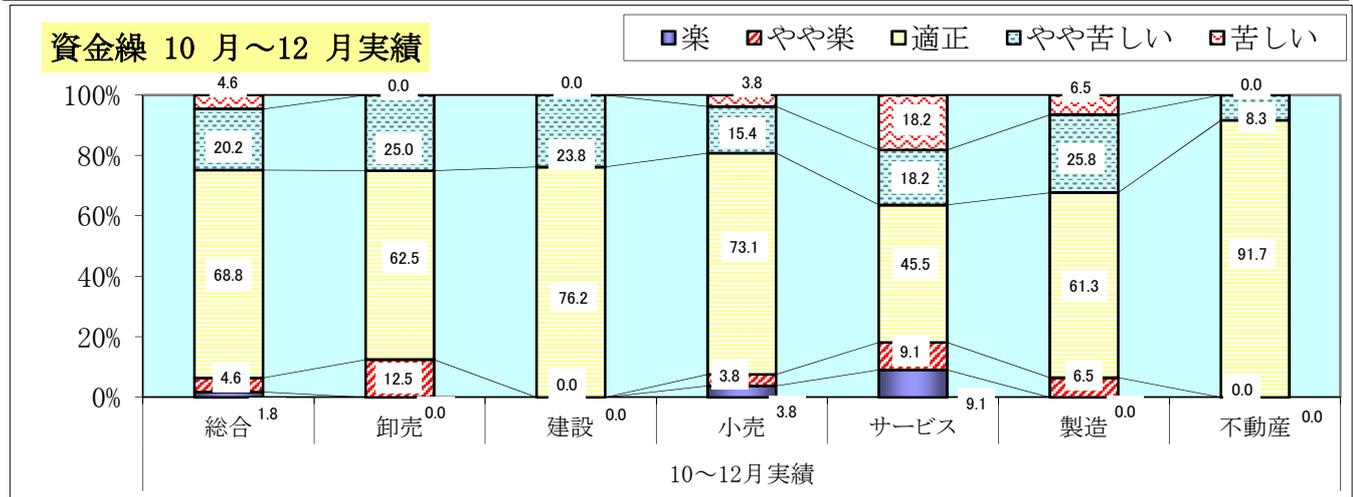
在 庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							0.0	
10~12月予想							-6.1	
10~12月実績	総合	2.0	9.2	74.5	12.2	2.0	-3.0	-1.1
	卸売	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	37.5	0.0
	建設	0.0	9.5	85.7	0.0	4.8	4.7	0.0
	小売	3.8	7.7	76.9	7.7	3.8	0.0	11.6
	製造	0.0	6.5	67.7	25.8	0.0	-19.3	-9.6
不動産	0.0	8.3	75.0	16.7	0.0	-8.4	-8.4	



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」とした企業が11.2%、「やや不足」「不足」とした企業が14.2%で、今期D. I. は△3.0となりました。
- 今期の在庫実績D. I. △3.0は、前期実績D. I. 0.0から3.0ポイント不足となり、前期調査における今期予想D. I. △6.1に対しては3.1ポイントの改善となりました。
- 業種別の今期D. I. は、製造業で△19.3ポイント、不動産業で△8.4ポイントと不足を示しました。小売業ではD. I. 0.0で均衡となり、卸売業では37.5ポイントの大幅な過剰を示しました。
- 1~3月予想D. I. は△1.1で、10~12月実績より1.9ポイント不足改善の予想となりました。

## (7) 資金繰りの動き

資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-21.1	
10~12月予想							-24.8	
10~12月実績	総合	1.8	4.6	68.8	20.2	4.6	-18.4	-21.1
	卸売	0.0	12.5	62.5	25.0	0.0	-12.5	-12.5
	建設	0.0	0.0	76.2	23.8	0.0	-23.8	0.1
	小売	3.8	3.8	73.1	15.4	3.8	-11.6	-15.4
	サービス	9.1	9.1	45.5	18.2	18.2	-18.2	-45.5
	製造	0.0	6.5	61.3	25.8	6.5	-25.8	-38.8
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	-8.3

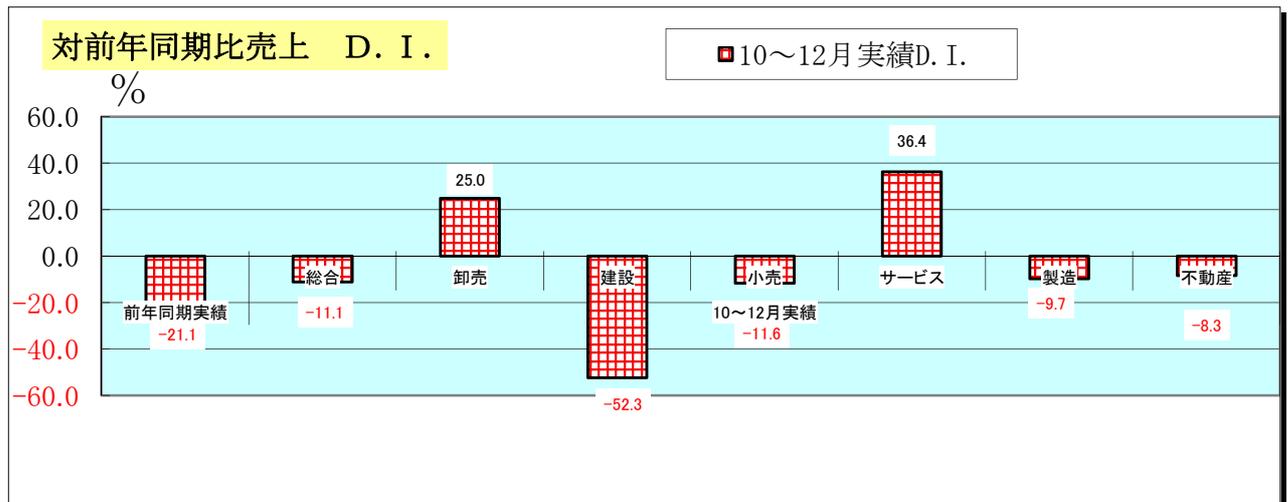
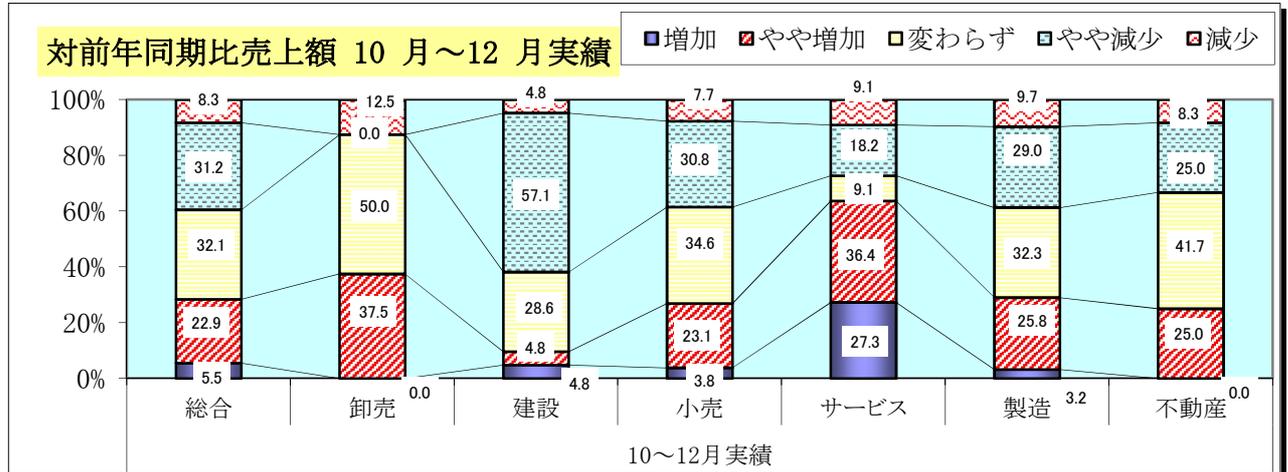


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」とした企業は6.4%、「やや苦しい」「苦しい」とした企業は24.8%となり、今期D. I. は△18.4となりました。
- 今期の資金繰り実績D. I. △18.4は、前期実績D. I. △21.1から2.7ポイント良化。前期調査における今期予想D. I. △24.8に対しても6.4ポイントの資金繰り良化となりました。
- 業種別の今期D. I. は、全ての業種で資金繰りの苦しい状況を示しております。殊に、製造業で△25.8、建設業で△23.8と苦しい状況を示しています。
- 1~3月予想D. I. は△21.1で、10~12月実績よりさらに2.7ポイント資金繰りが苦しくなる予想となりました。

### 3. 対前年同期に比べた動き

#### (1) 売上

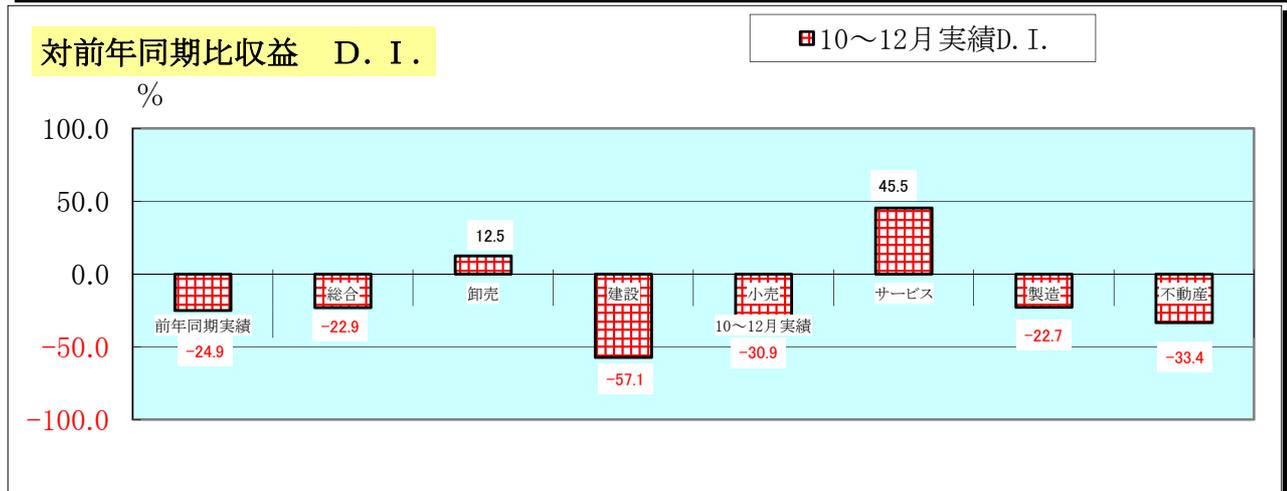
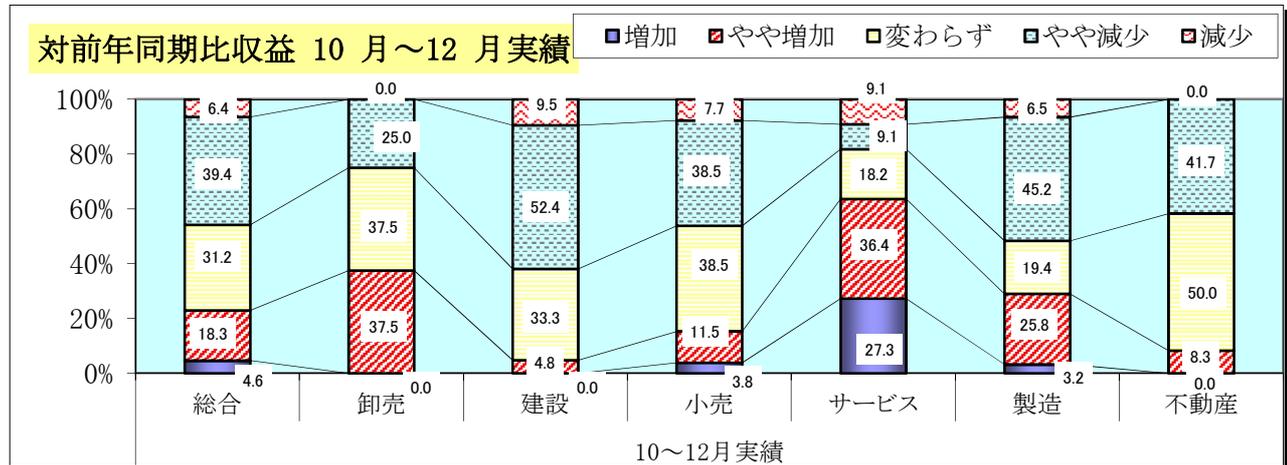
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.
前年同期実績							-21.1
10～12月実績	総合	5.5	22.9	32.1	31.2	8.3	-11.1
	卸売	0.0	37.5	50.0	0.0	12.5	25.0
	建設	4.8	4.8	28.6	57.1	4.8	-52.3
	小売	3.8	23.1	34.6	30.8	7.7	-11.6
	サービス	27.3	36.4	9.1	18.2	9.1	36.4
	製造	3.2	25.8	32.3	29.0	9.7	-9.7
	不動産	0.0	25.0	41.7	25.0	8.3	-8.3



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」とした企業は28.4%、「やや減少」「減少」とした企業は39.5%で、今期D. I. は△11.1となりました。
- 今期実績D. I. △11.1は、前年同期実績D. I. △21.1から10.0ポイント増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で36.4、卸売業で25.0の増加となりました。他の業種は減少を示し、殊に建設業で△52.3と大幅減少となりました。

## (2) 収益

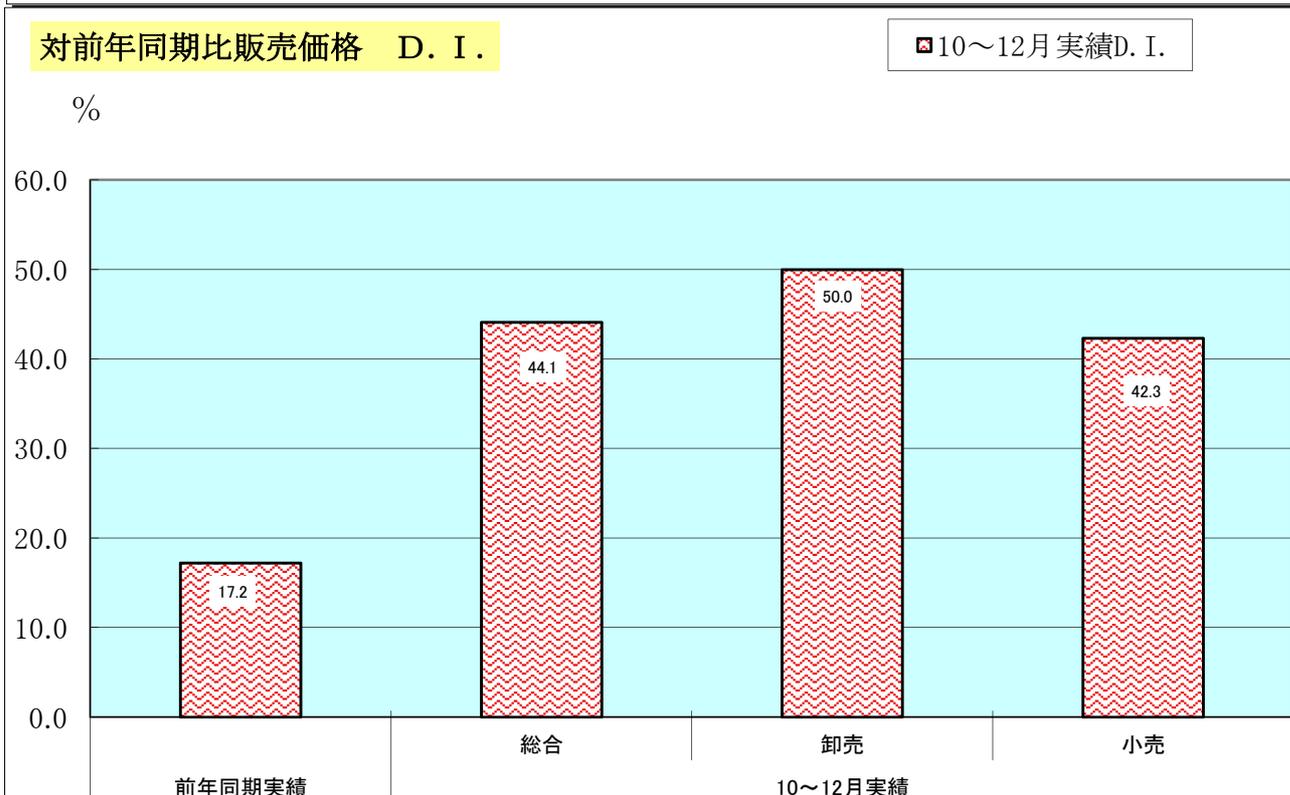
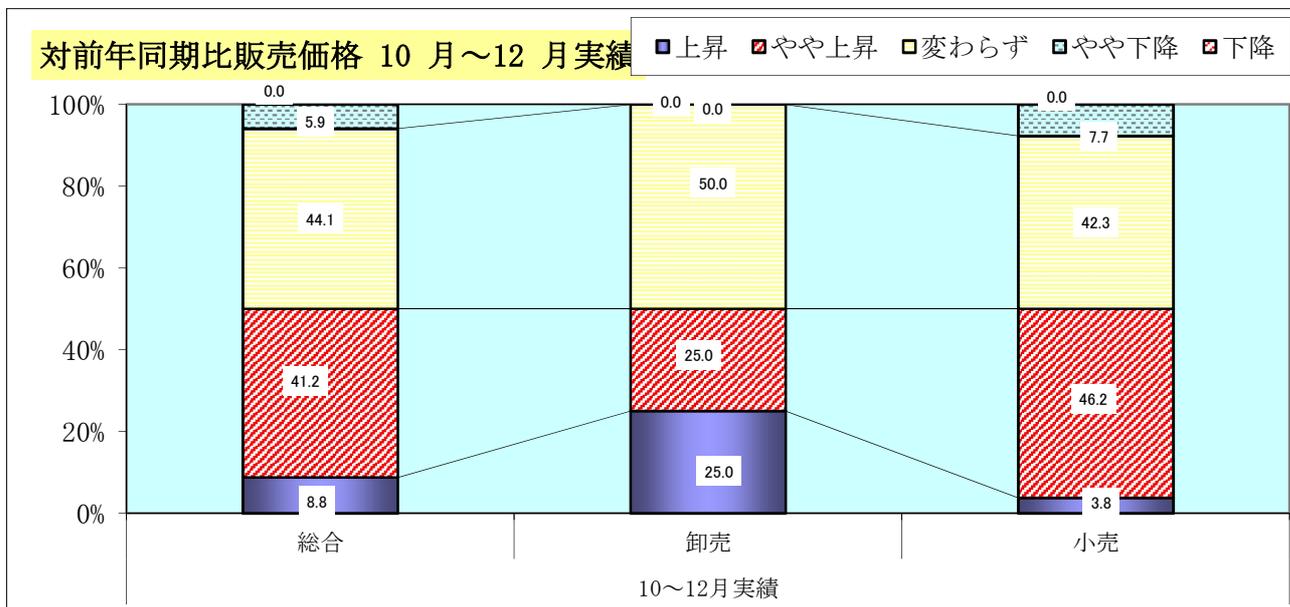
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.
前年同期実績							-24.9
10～12月実績	総合	4.6	18.3	31.2	39.4	6.4	-22.9
	卸売	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0	12.5
	建設	0.0	4.8	33.3	52.4	9.5	-57.1
	小売	3.8	11.5	38.5	38.5	7.7	-30.9
	サービス	27.3	36.4	18.2	9.1	9.1	45.5
	製造	3.2	25.8	19.4	45.2	6.5	-22.7
	不動産	0.0	8.3	50.0	41.7	0.0	-33.4



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」とした企業は22.9%、「やや減少」「減少」とした企業は45.8%で、今期D. I. は△22.9となりました。
- 今期実績D. I. △22.9は、前年同期実績D. I. △24.9に対し、2.0ポイント増加となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で45.5、卸売業で12.5と増加を示しました。他業種は減少を示し、殊に建設業で△57.1、不動産業で△33.4と大幅な減少となりました。

### (3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	10～12月実績D. I.
前年同期実績							17.2
10～12月実績	総合	8.8	41.2	44.1	5.9	0.0	44.1
	卸売	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	小売	3.8	46.2	42.3	7.7	0.0	42.3



○ 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」とした企業は50.0%、「やや下降」「下降」とした企業は5.9%となり、今期D. I. は44.1となりました。

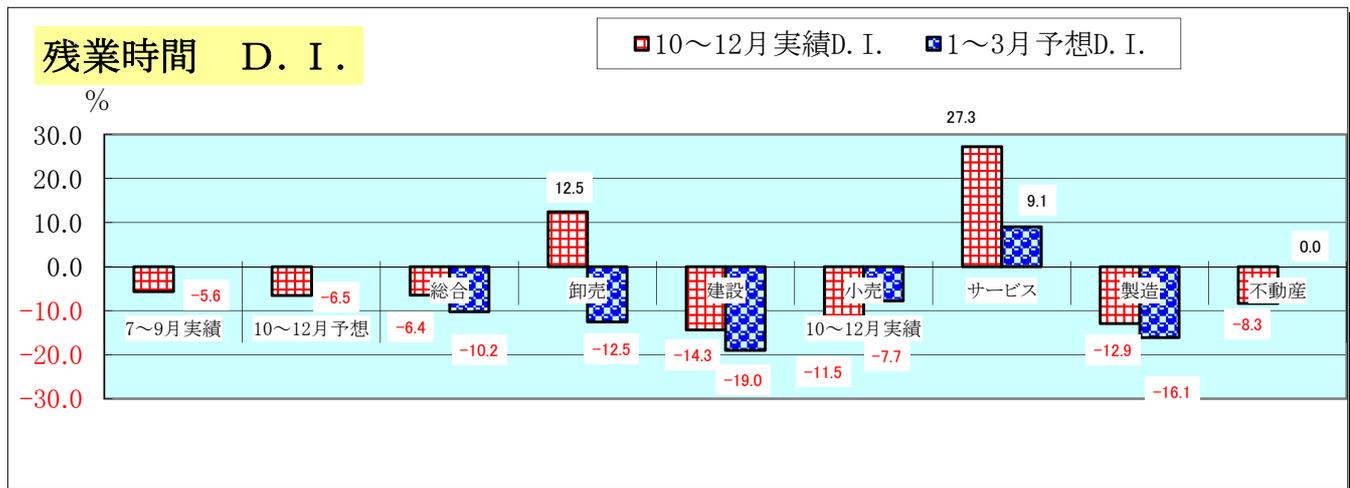
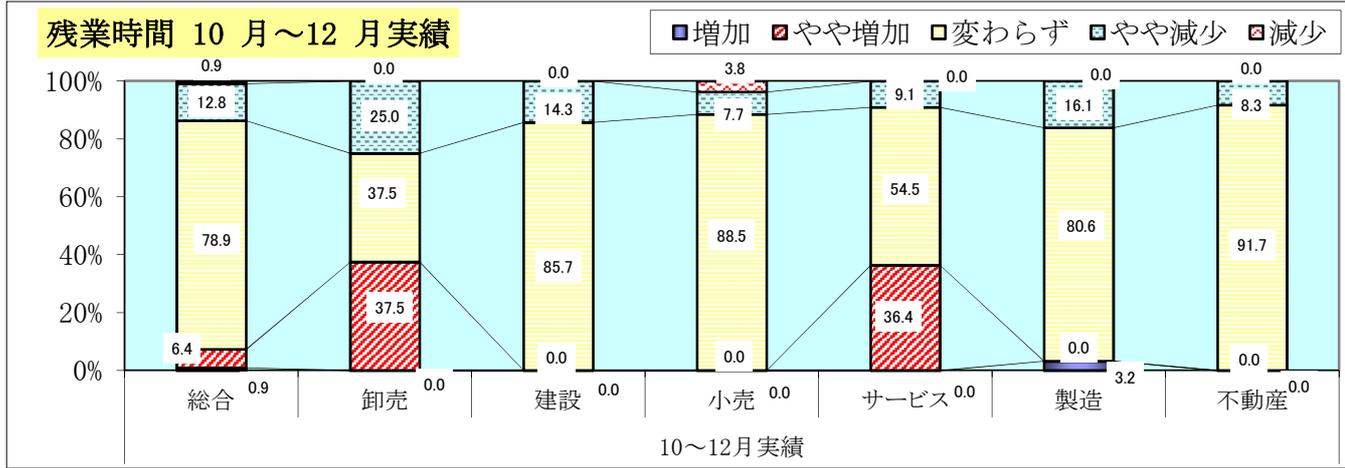
○ 今期実績D. I. 44.1は、前年同期実績D. I. 17.2に対し26.9ポイント上昇いたしました。

○ 業種別の今期D. I. は、卸売業で50.0、小売業で42.3の上昇を示しました。

## 4. 雇用面の動き

### (1) 残業時間

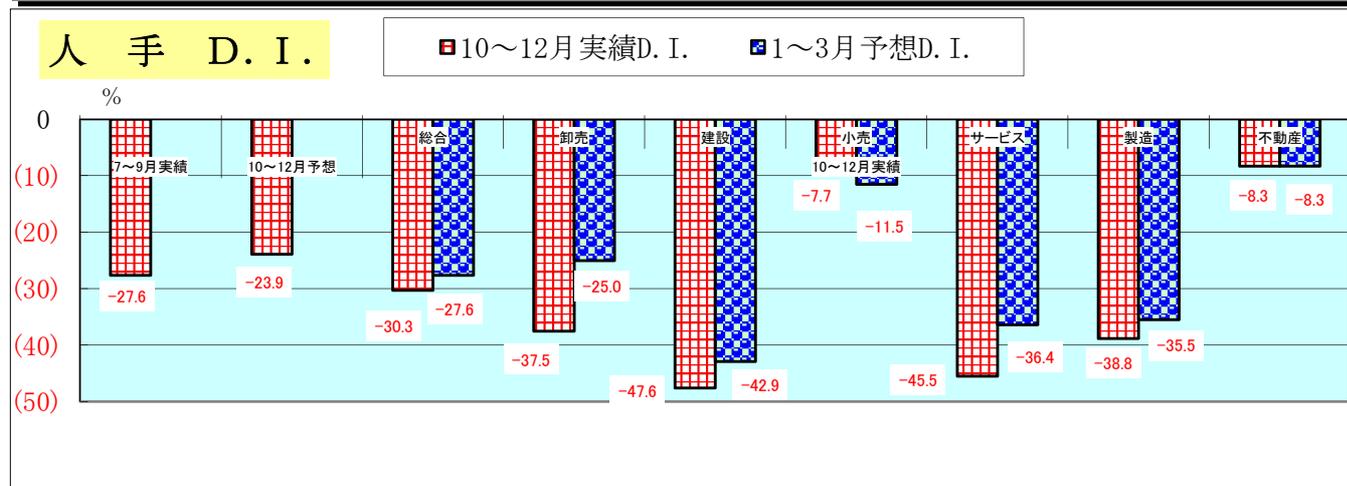
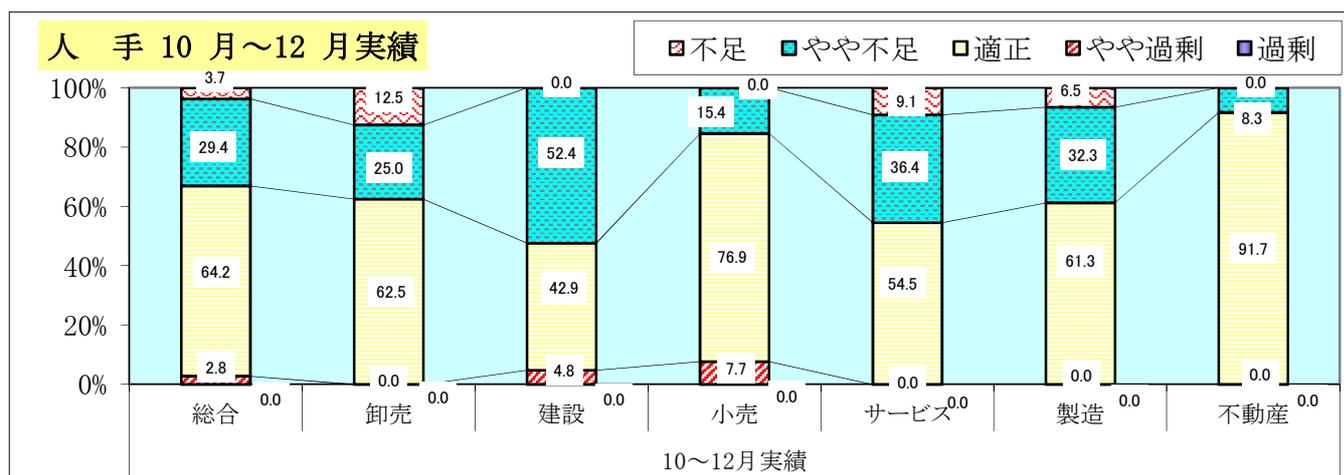
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	10～12月実績D. I.	1～3月予想D. I.
7～9月実績							-5.6	
10～12月予想							-6.5	
10～12月実績	総合	0.9	6.4	78.9	12.8	0.9	-6.4	-10.2
	卸売	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0	12.5	-12.5
	建設	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0	-14.3	-19.0
	小売	0.0	0.0	88.5	7.7	3.8	-11.5	-7.7
	サービス	0.0	36.4	54.5	9.1	0.0	27.3	9.1
	製造	3.2	0.0	80.6	16.1	0.0	-12.9	-16.1
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	0.0



- 前期に比べて残業時間が、「増加」「やや増加」とした企業は7.3%、「やや減少」「減少」とした企業は13.7%で、今期D. I. は△6.4となりました。
- 今期実績D. I. △6.4は、前期実績D. I. △5.6に対し0.8ポイント残業時間の減少となりました。前期調査における今期予想D. I. △6.5に対しても0.1ポイント残業時間の小幅増となりました。
- 業種別の今期D. I. は、サービス業で27.3、卸売業で12.5と増加を示しました。一方、建設業で△14.3、製造業で△12.9、小売業で△11.5、不動産業で△8.3、と減少を示しました。
- 1～3月予想D. I. は△10.2で、10～12月実績より3.8ポイント残業時間が減少予想となりました。

## (2) 人手

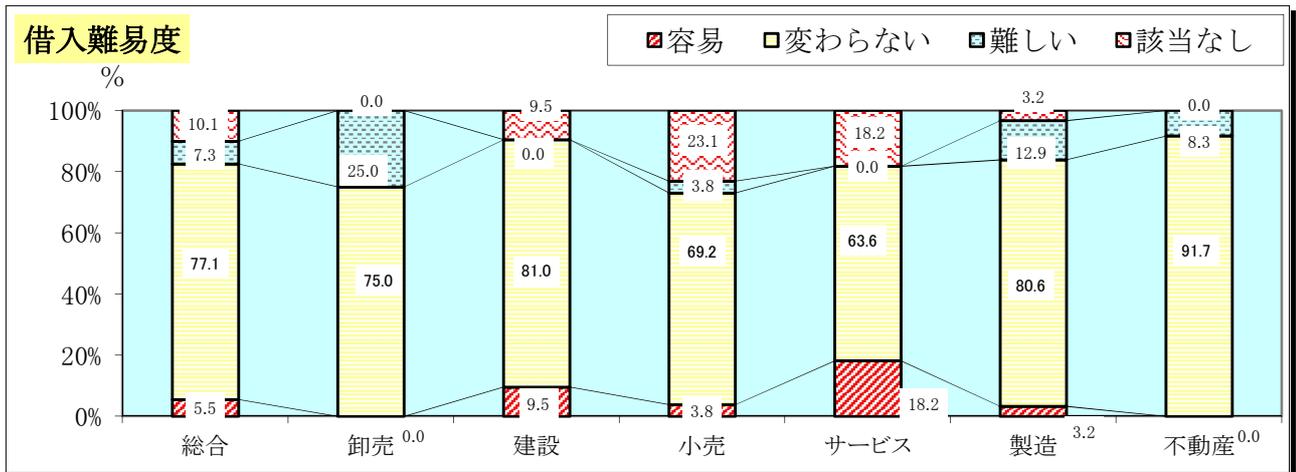
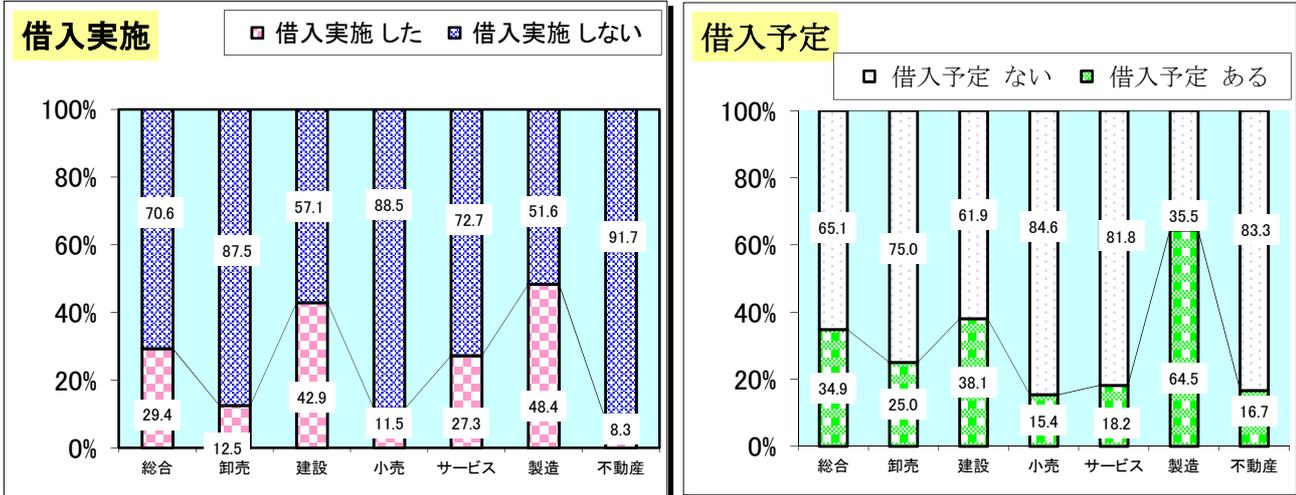
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10~12月実績D. I.	1~3月予想D. I.
7~9月実績							-27.6	
10~12月予想							-23.9	
10~12月実績	総合	0.0	2.8	64.2	29.4	3.7	-30.3	-27.6
	卸売	0.0	0.0	62.5	25.0	12.5	-37.5	-25.0
	建設	0.0	4.8	42.9	52.4	0.0	-47.6	-42.9
	小売	0.0	7.7	76.9	15.4	0.0	-7.7	-11.5
	サービス	0.0	0.0	54.5	36.4	9.1	-45.5	-36.4
	製造	0.0	0.0	61.3	32.3	6.5	-38.8	-35.5
	不動産	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	-8.3



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」とした企業は2.8%、「やや不足」「不足」とした企業は33.1%で、今期D. I. は△30.3となりました。
- 今期実績D. I. △30.3は前期実績D. I. △27.6から2.7ポイント、前期調査における今期予想D. I. △23.9に対しても、6.4ポイントの人手不足感が強まりました。
- 業種別の今期D. I. は、全ての業種で人手不足を示しました。  
建設業で△47.6、サービス業で△45.5、製造業で△38.8、卸売業で△37.5と人手不足が顕著となっています。
- 1~3月予想D. I. は△27.6で、10~12月実績より3.7ポイント人手不足の緩和予想となりました。

## 5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	29.4	70.6	34.9	65.1	5.5	77.1	7.3	10.1
卸売	12.5	87.5	25.0	75.0	0.0	75.0	25.0	0.0
建設	42.9	57.1	38.1	61.9	9.5	81.0	0.0	9.5
小売	11.5	88.5	15.4	84.6	3.8	69.2	3.8	23.1
サービス	27.3	72.7	18.2	81.8	18.2	63.6	0.0	18.2
製造	48.4	51.6	64.5	35.5	3.2	80.6	12.9	3.2
不動産	8.3	91.7	16.7	83.3	0.0	91.7	8.3	0.0

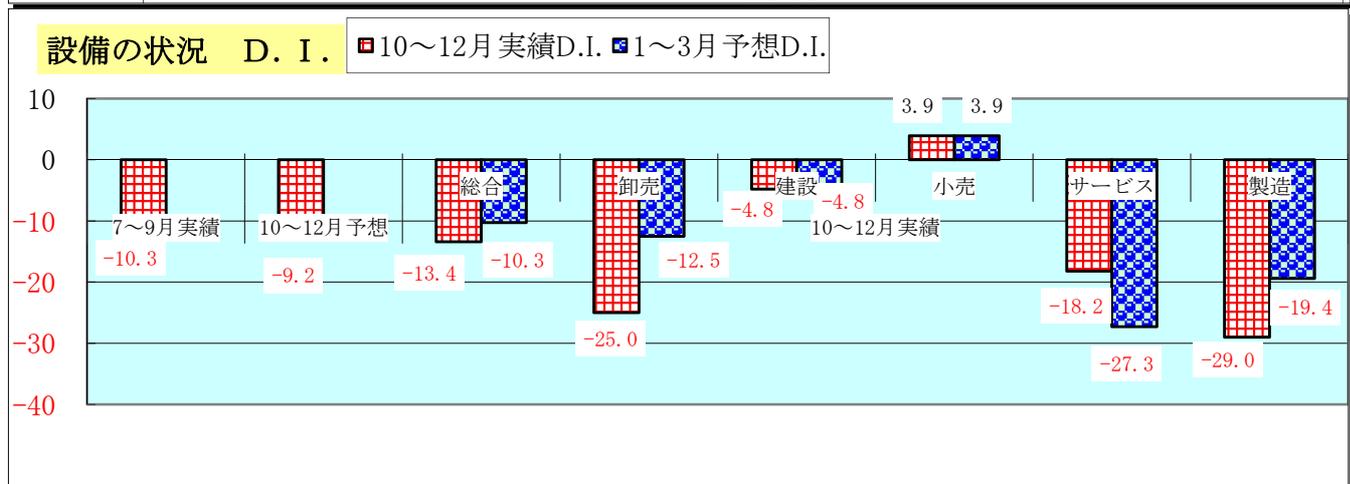
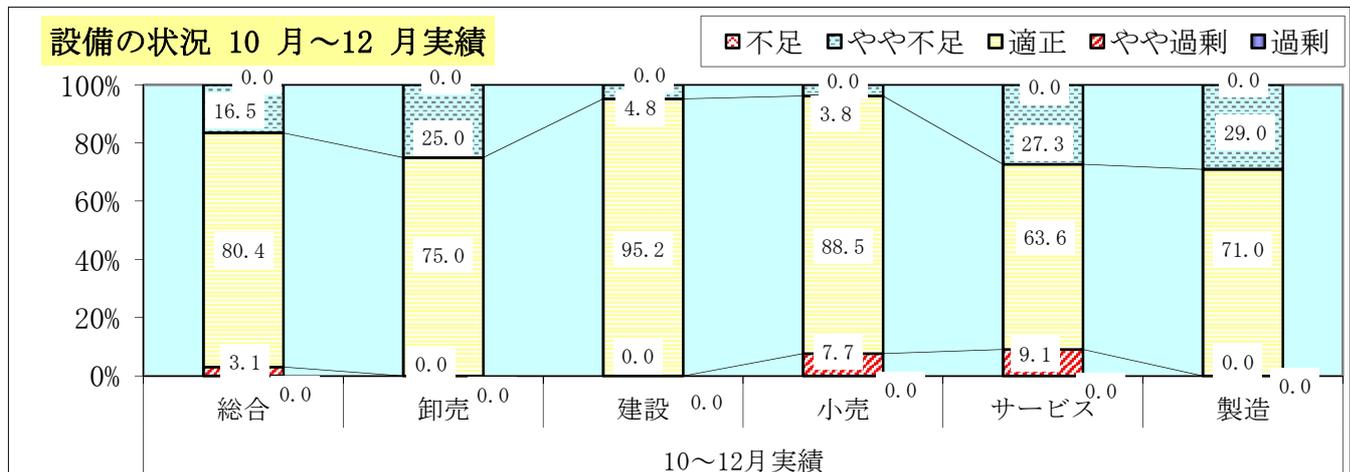


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体の29.4%（前期借入実施率31.2%）となりました。業種別では、製造業で48.4%、建設業で42.9%、サービス業で27.3%等となりました。
- 今後の借入予定では、34.9%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、製造業で64.5%、建設業で38.1%、卸売業で25.0%等となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度については、「変わらない」と回答した企業が77.1%（前期調査時68.8%）、「容易」は5.5%（前期調査時4.6%）、「難しい」は7.3%（前期調査時12.8%）となりました。

## 6. 設備投資の動き

### (1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	10~12月実績D.I.	1~3月予想D.I.
7~9月実績							-10.3	
10~12月予想							-9.2	
10~12月実績	総合	0.0	3.1	80.4	16.5	0.0	-13.4	-10.3
	卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-12.5
	建設	0.0	0.0	95.2	4.8	0.0	-4.8	-4.8
	小売	0.0	7.7	88.5	3.8	0.0	3.9	3.9
	サービス	0.0	9.1	63.6	27.3	0.0	-18.2	-27.3
製造	0.0	0.0	71.0	29.0	0.0	-29.0	-19.4	



- 今期の設備状況(不動産業を除く)について、「過剰」「やや過剰」とした企業は3.1%、「やや不足」「不足」とした企業は16.5%で、今期D. I. は△13.4となりました。
- 今期の実績D. I. △13.4は、前期実績D. I. △10.3に対して3.1ポイント不足感が強まりました。前期調査における今期予想D. I. △9.2に対しても4.2ポイント不足感が強まりました。
- 業種別の今期D. I. は、小売業で3.9と過剰を示し、他の業種は不足を示しました。製造業で△29.0、卸売業で△25.0等となりました。
- 1~3月予想D. I. は△10.3で、10~12月実績より3.1ポイント不足感が緩和予想となりました。

## (2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
10～12月(件数) 総合	3	7	4	8	11	0	75
卸売	0	0	0	0	0	0	8
建設	1	5	1	4	5	0	12
小売	1	-	-	2	1	0	24
サービス	0	2	1	0	1	0	8
製造	1	0	2	2	4	0	23

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合	5	4	6	4	8	1	76
卸売	0	0	0	0	0	0	8
建設	1	2	4	2	4	0	12
小売	1	-	-	1	2	1	23
サービス	1	0	0	1	0	0	9
製造	2	2	2	0	2	0	24

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ33件で前期調査時の46件を13件下回りました。

業種別では、建設業16件、製造業9件、小売業・サービス業が共に4件となりました。

設備投資の実施内容は、「車両」11件、「事務機器」8件、「機械新增設」7件、「機械更改」4件、「土地建物」3件となりました。

- 来期の設備投資予定は、「予定あり」と回答した件数は延べ28件となりました。

業種別では、建設業13件、製造業8件、小売業5件、サービス業2件となりました。

設備投資の予定内容は、「車両」8件、「機械更改」6件、「土地建物」5件、「機械新增設」「事務機器」が共に4件、「その他」1件となりました。

経営上の問題点 (項目別構成比「集計」)  
(業種別度数)

(複数回答)

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	4	4	7	6	14	11	6	5	16	11	5	7	52	44	18.6	16.4
同業者間の競争激化	0	0	0	0	4	4	2	2	3	1	3	2	12	9	4.3	3.3
利幅の縮小	4	5	5	8	8	7	1	1	13	12	2	1	33	34	11.8	12.6
人件費の増加	0	0	5	4	2	2	2	4	4	5	3	2	16	17	5.7	6.3
工場・機械(店舗設備)の狭小・老朽化	1	1	0	0	2	0	1	5	8	7	0	0	12	13	4.3	4.8
人件費以外の経費の増加	1	1	0	0	1	2	0	0	2	3	1	2	5	8	1.8	3.0
大手企業(大型店)との競争激化	1	2	0	1	1	2	1	0	1	2	0	0	4	7	1.4	2.6
合理化の不足	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4	1	1.4	0.4
天候の不順	0	0	3	3	3	4	4	0	0	0	0	0	10	7	3.6	2.6
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
原材料高・材料価格の上昇	0	0	17	17	0	0	5	0	21	23	0	0	43	40	15.4	14.9
地場産業の衰退	0	0	0	0	2	3	0	0	2	0	0	0	4	3	1.4	1.1
集客力の低下	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	2	3	0.7	1.1
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
為替レートの変動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0.4	0.7
販売商品の不足・商品物件の不足	1	1	0	0	3	2	0	0	0	0	2	2	6	5	2.1	1.9
販売納入先からの値下げ要請	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	2	2	0.7	0.7
人手不足	1	2	11	11	3	3	2	3	6	9	1	1	24	29	8.6	10.8
商圏人口の減少	0	0	0	0	9	10	2	1	0	0	0	0	11	11	3.9	4.1
取引先の減少	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	4	3	1.4	1.1
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	2	1	0	0	1	2	2	3	0	0	5	6	1.8	2.2
輸入製品(商品)との競争激化	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
問題なし	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	2	4	3	1.4	1.1
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
その他	1	0	0	0	2	2	0	0	1	1	1	1	5	4	1.8	1.5
流通経路競争の激化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取扱商品(業務)の陳腐化	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
仕入先からの値上り要請	3	2	0	0	6	7	0	0	2	2	0	0	11	11	3.9	4.1
下請けの確保難	0	0	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	2.5	1.1
合計	20	19	57	56	69	65	28	27	85	82	21	20	280	269	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」 44件  
 第2位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 40件  
 第3位～ 「利幅の縮小」 34件

\*前期\*

第1位～ 「売上の停滞・減少」 52件  
 第2位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 43件  
 第3位～ 「利幅の縮小」 33件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
卸売業	利幅の縮小 5	売上の停滞・減少 4	大手企業(大型店)との競争激化、人手不足 他1 2
建設業	原材料高・材料価格の上昇 17	人手不足 11	利幅の縮小 8
小売業	売上の停滞・減少 11	商圏人口の減少 10	利幅の縮小、仕入先からの値上り要請 7
サービス業	売上の停滞・減少、工場・機械(店舗設備)の狭小・老朽化 5	人件費の増加 4	人手不足 3
製造業	原材料高・材料価格の上昇 23	利幅の縮小 12	売上の停滞・減少 11
不動産業	売上の停滞・減少 7	同業者間の競争激化、人件費の増加、問題なし 他2 2	利幅の縮小、人手不足、その他 1

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）  
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	6	5	10	11	18	18	7	7	17	19	5	6	63	66	25.7	26.2
販路を広げる	5	5	7	6	0	0	4	4	17	16	2	1	35	32	14.3	12.7
情報力を強化する	1	2	6	6	0	0	0	0	7	4	6	7	20	19	8.2	7.5
人材を確保する	1	1	12	13	1	5	4	4	10	10	0	1	28	34	11.4	13.5
技術力を強化（高める）	0	0	9	8	0	0	1	3	0	0	0	0	10	11	4.1	4.4
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	7	5	0	0	7	5	2.9	2.0
機械化を推進する	0	0	0	0	0	1	0	0	3	5	0	0	3	6	1.2	2.4
パート化を図る	0	0	1	4	4	2	1	1	2	1	1	1	9	9	3.7	3.6
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	0	1	2	3	0	0	0	1	2	4	0	0	4	9	1.6	3.6
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2	4	2	1.6	0.8
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0.8	0.4
新しい事業を始める	0	0	0	0	5	4	7	7	0	0	3	5	15	16	6.1	6.3
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	3	4	1.2	1.6
その他	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	2	2	0.8	0.8
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4	0.8	1.6
特になし	1	0	3	1	5	5	0	0	1	3	4	2	14	11	5.7	4.4
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	0	3	2	1.2	0.8
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
不動産の有効活動を図る	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	0.8	1.2
輸入品の取扱を増やす	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0.8	0.8
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	2	3	0.8	1.2
営業時間を延長する	3	2	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	6	5	2.4	2.0
提携先を見つける	1	2	0	0	3	2	1	0	0	0	1	0	6	4	2.4	1.6
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	20	20	51	54	49	51	26	30	75	71	24	26	245	252	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 66 件  
 第2位～ 「人材を確保する」 34 件  
 第3位～ 「販路を広げる」 32 件

\*前期\*

第1位～ 「経費を節減する」 63 件  
 第2位～ 「販路を広げる」 35 件  
 第3位～ 「人材を確保する」 28 件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
卸 売 業	経費を節減する 販路を広げる	5	情報力を強化する、営業時間を 延長する、提携先を見つける	2	人材を確保する、輸入品の 取扱いを増やす 他 2	1
建 設 業	人材を確保する	13	経費を節減する	11	技術力を強化（高める）	8
小 売 業	経費を節減する	18	人材を確保する 特になし	5	新しい事業を始める、仕入 先を開拓・選別する 他 1	4
サービ 業	経費を節減する 新しい事業を始める	7	販路を広げる 人材を確保する	4	技術力を強化（高める）	3
製 造 業	経費を節減する	19	販路を広げる	16	人材を確保する	10
不 動 産 業	情報力を強化する	7	経費を節減する	6	新しい事業を始める	5

# 特別調査

## 「2023年（令和5年）の経営見通し」

問 1 貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い			
合計（構成比）	0.0%	0.0%	5.5%	21.1%	45.9%	24.8%	2.8%			
総合	0	0	6	23	50	27	3			
卸売	0	0	1	2	2	2	1			
建設	0	0	1	7	9	4	0			
小売	0	0	0	4	14	7	1			
サービス	0	0	1	4	4	2	0			
製造	0	0	2	4	16	8	1			
不動産	0	0	1	2	5	4	0			

上記質問で、5.の「やや悪い」が50先と一番多く、次いで、6.の「悪い」27先、4.の「普通」23先が主な回答となった。

問 2 貴社では、2023年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 非常に良い	2. 良い	3. やや良い	4. 普通	5. やや悪い	6. 悪い	7. 非常に悪い			
合計（構成比）	0.0%	1.8%	10.1%	33.9%	44.0%	9.2%	0.9%			
総合	0	2	11	37	48	10	1			
卸売	0	0	1	5	1	1	0			
建設	0	0	2	7	12	0	0			
小売	0	0	1	7	14	3	1			
サービス	0	0	4	2	3	2	0			
製造	0	1	3	9	14	4	0			
不動産	0	1	0	7	4	0	0			

上記質問で、5.の「やや悪い」が48先と一番多く、次いで、4.の「普通」37先、3.の「やや良い」11先が主な回答となった。

問 3 2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. 30%以上の増加	2. 20~29%の増加	3. 10~19%の増加	4. 10%未満の増加	5. 変わらない	6. 10%未満の減少	7. 10~19%の減少	8. 20~29%の減少	9. 30%以上の減少	
合計（構成比）	2.8%	1.8%	8.3%	11.9%	35.8%	22.0%	12.8%	3.7%	0.9%	
総合	3	2	9	13	39	24	14	4	1	
卸売	0	0	1	0	5	0	1	1	0	
建設	0	1	2	4	5	5	3	1	0	
小売	0	0	0	2	9	8	5	2	0	
サービス	2	0	4	0	3	1	1	0	0	
製造	1	1	2	4	10	10	2	0	1	
不動産	0	0	0	3	7	0	2	0	0	

上記質問で、5.の「変わらない」が39先と一番多く、次いで6.の「10%未満の減少」24先、7.の「10~19%の減少」14先、4.の「10%未満の増加」13先が主な回答となった。

問 4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

	1. すでに上向 いている	2. 6か月以内	3. 1年後	4. 2年後	5. 3年後	6. 3年超	7. 業況改善の 見通しは立 たない			
合計（構成比）	15.6%	10.1%	9.2%	14.7%	12.8%	2.8%	34.9%			
総合	17	11	10	16	14	3	38			
卸売	1	3	0	1	3	0	0			
建設	2	2	1	3	2	1	10			
小売	1	0	4	2	4	1	14			
サービス	5	2	0	1	2	0	1			
製造	3	3	4	7	3	1	10			
不動産	5	1	1	2	0	0	3			

上記質問で、7.の「業況改善の見通しは立たない」が38先と一番多く、次いで、1.の「すでに上向いている」17先、4.の「2年後」16先、5.の「3年後」14先が主な回答となった。

問 5 2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか。最も当てはまるものを1～0から3つ以内で選んでお答えください。

	1. 原材料・仕 入価格のさら なる高騰	2. 原油・天然 ガス等のエネ ルギー価格 高騰	3. コロナなど 感染症の感 染再拡大	4. ロシア・ウ クライナを 含む海外情 勢の緊迫化	5. 台風・豪 雨・地震・ 噴火などの 自然災害	6. 取引先廃業 等による売 上げ激減	7. 経営者や従 業員の健康 問題	8. コロナ融資 の返済	9. 円安・イン フレの加速	0. その他 ( )
合計（構成比）	31.3%	24.6%	14.9%	7.8%	4.5%	1.9%	4.1%	3.7%	7.1%	0.0%
総合	84	66	40	21	12	5	11	10	19	0
卸売	8	4	5	1	0	0	0	0	4	0
建設	19	14	4	4	5	0	5	0	3	0
小売	20	15	10	8	1	3	0	1	3	0
サービス	8	4	6	1	1	0	2	4	1	0
製造	28	23	7	4	3	1	2	3	7	0
不動産	1	6	8	3	2	1	2	2	1	0

上記質問で、1.の「原材料・仕入価格のさらなる高騰」が84先と一番多く、次いで、2.の「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」66先、3.の「コロナなど感染症の感染再拡大」40先、4.の「ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化」21先が主な回答となった。